

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、作田川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 河道拡幅、橋梁改築、河道掘削
- ・ 樹木伐採、堆積土撤去
- ・ 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
- ・ 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
- ・ ため池やクリークの治水活用

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 立地適正化計画の策定支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 洪水浸水想定区域図（公表済）
- ・ 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- ・ 水害対応タイムラインの活用

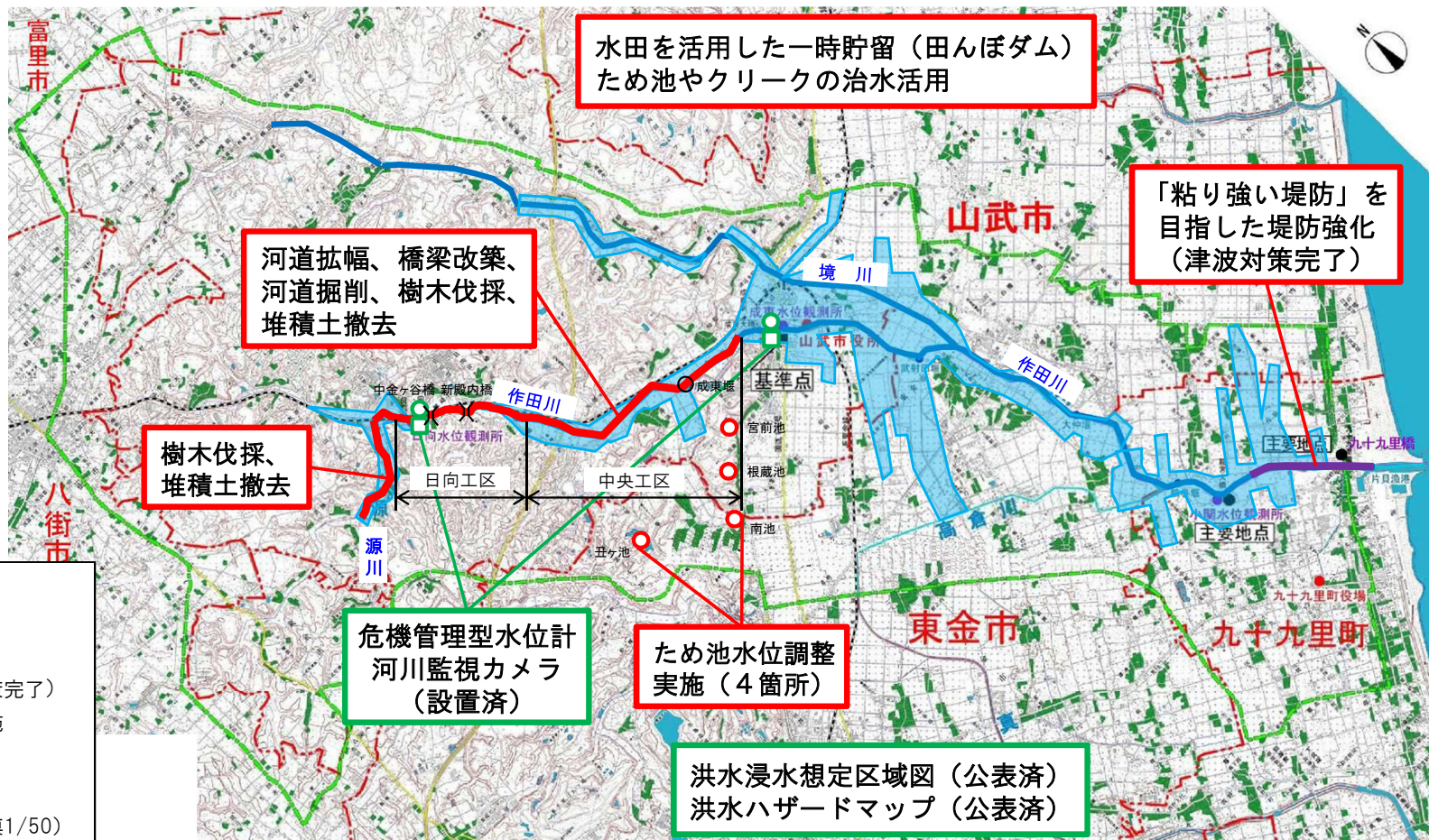
- ・ マイ・タイムラインの作成支援
- ・ 洪水ハザードマップ（公表済）
- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
- ・ 事業継続計画（BCP）の策定
- ・ 防災講話の実施
- ・ 防災士協会の設立と活動支援



【令和元年】山武市椎崎付近浸水状況



【令和元年】山武市矢部付近浸水状況



- 【凡例】
- 流域界
  - 河川改修
  - 堤防強化（津波対策完了）
  - ため池水位調整実施
  - 危機管理型水位計
  - 河川監視カメラ
  - 浸水想定（計画規模1/50）

洪水浸水想定区域図（公表済）  
洪水ハザードマップ（公表済）



- 作田川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 河川における対策として、作田川の成東堰周辺で河川切回し及び河道拡幅等を推進するとともに、新殿内橋から中金ヶ谷橋までの区間で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。また、源川では、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
  - 【中期】 作田川の中央工区の早期完成に向けて、河道拡幅及び橋梁改築等を推進する。
  - 【中長期】 引き続き、作田川の日向工区の未整備区間（中金ヶ谷橋から上流区間）等で河道拡幅及び橋梁改築等を推進し、作田川指定区間の全川整備完了を目指す。
- あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水活用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築、河道掘削	千葉県	成東堰周辺完了	作田川指定区間の全川整備完了	
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	作田川、源川	定期的に実施予定	
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町	継続して実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	東金市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、山武市	継続して実施		
	事業継続計画(BCP)の策定	東金市、山武市	随時見直しながら実施		
	防災講話の実施	山武市	継続して実施		
	防災士協会の設立と活動支援	山武市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】  
 ■河川対策  
 全体事業費 36.9億円  
 河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた  
 更なる対策を推進